

草の根 通信

VOLUME
102

Kusanone Tsushin

[2020年3月発行]



毎年恒例フィラデルフィア日米協会主催
「さくら祭」の様子

特集

海を渡った「漂異紀畧」

文：北代淳二氏

- ・フィラデルフィア大会
- ・和歌山大会



海を渡った「漂異紀畧」

土佐で生まれた万次郎たちの漂流記『漂異紀畧』がフィラデルフィアへなぜ、どのようにたどり着いたのか。
2012年4月高知新聞に北代淳二氏が6回にわたり連載した『海を渡った「漂異紀畧」』より抜粋・編集しました。

「幻の書」といわれて長く所在が分からなかった『漂異紀畧』がアメリカ人により「発見」され、海を渡った。日本の古書展からフィラデルフィアの小さな博物館の書庫に収蔵されるまで、この古書がたどった軌跡は、その中に描かれたジョン万次郎の物語に劣らぬほど劇的だった。編集者の河田小龍を通じて、坂本龍馬の目を世界に開かせることにも役立ったと言われる『漂異紀畧』。その足取りとアメリカでの受容の様子を紹介。

1912(明治45)年、初夏。東京両国橋近くの美術倶楽部で開かれていた古書展示即売会で、スチュワート・キューリンというアメリカ人が熱心に本をあさっていた。彼は著名な文化人類学者で、ニューヨークにあるブルックリン博物館の学芸員だった。その彼の目がふと手に取った袋とじの古書の1ページに吸い寄せられた。「これはニューイングランドの風景ではないか!」。

1852(嘉永5)年に、土佐に帰ったジョン万たち漂流民の体験を、河田小龍が4巻の書にまとめた『漂異紀畧』。藩主山内容堂に献じられたあと、なぜか所在不明となり、「幻の書」となっていた。その『漂異紀畧』が、60年を経て初めて「発見」された瞬間だった。その風景画に記されている「ボーストン府馬頭之図」の文字は日本語の読めない

キューリンには分からなかったが、キューリンは当たっていた。1846年、一人前の捕鯨船員になったジョン万は、フランクリン号に乗り組み太平洋へと向かう。船が途中ボストンに立ち寄った時の記述が『漂異紀畧』の中にあり、風景画は確かにその挿絵の一つ、ボストン埠頭の図だった。

『漂異紀畧』を購入したキューリンは、帰国間際の12月になって、地理学者・志賀重昂を介し、ジョン万の長男・中浜東一郎に会った。

東一郎の日記によると、12月12日、帝国ホテルに宿泊中のキューリンを訪ね、6か月前に手に入れたという『漂異紀畧』に初めて対面した。東一郎は書中のジョン万の署名を認めて、「私の父の手です。正しくこれは神のお働きだ」と述べたという。

東一郎はキューリンの許しを得てこの4巻の書を借り受け、家族知人を動員して3日ばかりで全巻を筆写した。

東一郎はキューリンが見つけた『漂異紀畧』を原本と思ったようだが、明らかにそうではなかった。扉は正しく『漂異紀畧』となっているが、袋とじの表題は4巻とも『漂選記畧』と、「異」が「選」、「紀」が「記」と間違えられている。東一郎が日記に『漂選記畧』と記したのも書き間違いだろう。

キューリンが見つけた4巻は、中身は『漂異紀畧』の完全古写本とみられ、キューリン本と呼ばれる。東一郎が筆写し



たものは中浜本として、『漂選記畧』という間違った表題のまま中浜家に伝わっている。そして、1920(大正9)年に中浜本からさらに写本が作られ、ジョン万の第二の故郷フェアヘブーンへ送られた。

翌年、『漂異紀畧』は、アメリカへ帰国したキューリンと共にニューヨークへ渡った。

キューリンはフィラデルフィア出身の文化人類学者で、トランプやチェスなど、各民族特有のゲームの比較研究が専門分野で、日本の双六すごろくや羽根つきについての研究論文もある。米本土はもとより、アジアと東欧の各国をくまなく回って集めた研究資料と収蔵品は、キューリン・コレクションとして有名になった。

ところが彼が東京で手に入れた『漂異紀畧』は、ブルックリン博物館の収蔵品になっていない。東一郎日記が記すように、恐らくキューリンはジョン万の伝記を書くか、『漂異紀畧』の英訳出版を考えて、手元に置いていたのであろう。そのいずれも実現することなく、1929年、キューリンは71歳で亡くなった。

キューリンの死の直後、ブルックリン博物館は、遺品の資料や書籍を未亡人から購入した。その中に『漂異紀畧』4巻も含まれていたが、そのまま放置され、結局8年後にまた未亡人に返された。

その後1948年にキューリン未亡人は『漂異紀畧』をある希少本のコレクターに売却し、さらにこれを、1966年にフィラデルフィアのローゼンバック博物館が買い入れて、現在に至っている。

海を渡った『漂異紀畧』がアメリカで一般公開されたのはこの100年で3回*1だけだ。最初は1976年、建国200年を祝うワシントンで。2回目はローゼンバック博物館・図書館が99年に自ら催した『漂異紀畧』特別展。そして3回目は2003年、ロサンゼルス^スの全米日系人博物館で開かれた特別展である。[2012年4月現在]



ローゼンバック博物館から数ブロックのところ、1776年、建国の父と呼ばれるワシントンやジェファーソンらが、人間は生まれながらにして平等だと、英植民地からの独立を高らかに宣言した歴史的な場所がある。ジョン万が自ら体験した若きアメリカの民主主義を日本へ初めて伝えた『漂異紀畧』。そのアメリカ永住の地として、フィラデルフィアは誠にふさわしいと言えるだろう。

*1 2013年、キューリン本『漂異紀畧』は1912年に日本を離れてから、101年の歳月を経て再度太平洋を渡り、故郷高知の坂本龍馬記念館で公開された。今年のローゼンバック博物館での特別展で、一般公開は第5回目となる。[事務局補足]

ローゼンバック博物館
Rosenbach Museum

この施設は希少本の収集家・ディーラーとして20世紀後半に活躍した、A.S.W.ローゼンバック博士のコレクションで知られる。特に、優れた英米文学者の原稿や初版本と、アメリカナと総称される米国史関連の古文書類を多く集めているのが特色だ。その中に、アメリカの名の由来となったアメリゴ・ヴェスプッチが、1504年に書いたという『ムンドゥス・ノヴス（新世界）』がある。コロンブスがアメリカをアジアの一部と考えたのと違って、ヴェスプッチがアメリカ大陸の存在を初めてヨーロッパに知らせたように、『漂異紀畧』はジョン万の体験を通じて、初めてアメリカを日本人に伝えた。ローゼンバック博物館・図書館は『漂異紀畧』をこのように評価し、そのアメリカナ・コレクションの重要な一部だと位置づけている。

文：北代淳二(CIE評議員・ジョン万次郎研究家) 編集：CIE事務局



JapanPhilly2020 第一弾! ローゼンバック博物館特別展: 万次郎—漂流 1841~2020

JapanPhilly2020

フィラデルフィア日米協会がフィラデルフィア市全体を挙げて、東京オリンピックが開催される2020年をジャパン・イヤーとして日本とフィラデルフィアの友好を祝い、さらなる交流の促進のため、芸術・ビジネス・文化などを通して日本とフィラデルフィアを結びつけるダイナミックなイベントを開催します。万次郎の漂流記『漂異紀畧』特別公開を皮切りに、スバル桜祭り・お盆祭りの拡大に加え、「松風荘とモダニズム」の特別展で半世紀以上に渡るフィラデルフィアと日本の建築家たちの友情を紹介し、そして、「第30回日米草の根交流サミット2020フィラデルフィア大会」がフィナーレとなります。

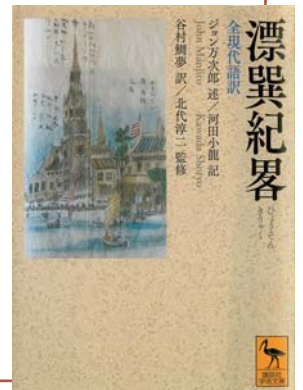


<https://rosenbach.org/visit/exhibitions/manjiro-drifting-1841-2020>

Check!!

『漂異紀畧』が読みやすい現代日本語に
フィラデルフィア・
ローゼンバック博物館を
訪れる前にぜひ読みたい!

『漂異紀畧 ひょうそんきりやく』
全現代語訳
ジョン万次郎 述 / 河田小龍 記
谷村鯛夢 訳 / 北代淳二 監修
講談社学術文庫



Philadelphia

最新
情報

第30回 日米草の根交流サミット 2020

フィラデルフィア大会 2020.10.6.tue~13.tue

地域分科会に「**11**メインライン」が追加されました!!



THE 31TH JAPAN-AMERICA GRASSROOTS SUMMIT IN

WAKAYAMA, JAPAN

第31回日米草の根交流サミット2021 和歌山大会 日程決定!

日本人にもとても魅力的な
スポット満載の和歌山県です。

わかやま県政ニュース

日米草の根交流サミット和歌山大会を開催します

～県民と米国一般市民の草の根レベルでの
交流促進を目的に和歌山県では初めての開催～

期間：2021年6月22日(火)～6月28日(月)

<http://wave.pref.wakayama.lg.jp/news/kensei/shiryo.php?sid=30571>

日米交流最初の地

1791(寛政3)年、ペリーの黒船来航より62年も前に、ボストンの商船レイディ・ワシントン号とグレイス号の2隻が串本町を訪れており、この史実が日米間の最初の交流だとされています。鎖国当時の日本と交易を試みるべく、カナダ産の毛皮を運び、紀伊大島に立ち寄るも、温暖な地の人々には興味を持たれなかったそうです。しかし、外国からの大きな商船に興味を示した住民たちは、釣り船で船に近づき、船員たちに出迎えられ、船内でもてなしを受けたという記録が、アメリカの「マサチューセッツ・海事史」そして、日本の『紀南遊囊』に残っています。そして、和歌山大会開催年の2021年は串本町での日米修好230周年となります。

参考： <https://www.town.kushimoto.wakayama.jp/kanko/kizuna/america.html>



自然が豊か!

熊野古道、那智勝浦、白浜、高野山、桃源郷など



深い歴史!

万葉集の句が読まれた和歌の浦や、江戸時代御三家の一つである紀州徳川の居城和歌山城など



豊富な食材!

みかん、桃、梅をはじめ、和歌山ラーメン、釜揚げしらす、クエ料理など、季節ごとのグルメ

11 メインライン Main Line

フィラデルフィアから電車で20分から30分ほどの郊外にある地域。ペンシルベニア鉄道のメインライン(本線)に沿って広がった町という通称です。このエリアには名門で知られるプリンマー大学、ピラノバ大学、ハファフォード大学が立地し、住宅街の中に歴史的な建物のキャンパスが広がっています。



Key Person / キーパーソン

Masako Hamada
浜田昌子

ピラノバ大学、国際学部・日本学科で日本研究を専門に30年、教鞭を執る傍ら、アメリカで日本文化の普及を始め日米交流に貢献してきております。最近では出版予定の「陽明丸：日米露連携の人道の箱船」の翻訳者の一人として携わりました。趣味は旅行、グルメ歩き、週末はリラクスしたひと時を過ごしています。大学の町、メインラインで皆さまと交流ができるのをとても楽しみにお待ちしております。



彼女の名前はクロエ。
アジアの小さな町で暮らしています。
まだ誰にも言っていないけれど、
将来は、獣医さんになりたいそうです。

そんな女の子の毎日に、
私たちの仕事は役立っているだろうか。
三菱商事は、そんなことを考えます。
彼女の未来を考えることは、
この世界の未来を
考えることにつながっている。
そう思うのです。
仕事広がるほど、複雑になるほど、
その先にある一人の幸せを想う。
私たちは、三菱商事です。

世界とひとりのために。

Japanese Hospitality Wherever You Fly



寄附協賛企業一覧 (五十音順) List of Corporate sponsors of CIE Japan

AISIN

アイシン精機株式会社
AISIN SEIKI Co., Ltd

AICHI STEEL

愛知製鋼株式会社
AICHI STEEL CORPORATION

総合教育
生涯学習機関 **ECC**

株式会社ECC
ECC Co., Ltd.

kikkoman

キッコーマン株式会社
Kikkoman Corporation

JTEKT

株式会社ジェイテクト
JTEKT CORPORATION

ANA

全日本空輸株式会社
All Nippon Airways Co., Ltd.

DAIKIN

ダイキン工業株式会社
Daikin Industries, Ltd.

DENSO

株式会社デンソー
DENSO CORPORATION

DOUTOR

株式会社ドトールコーヒー
Doutor Coffee Co., Ltd.

豊田合成

豊田合成株式会社
TOYODA GOSEI CO., LTD.

TOYOTA

トヨタ自動車株式会社
TOYOTA MOTOR CORPORATION

豊田自動織機

株式会社豊田自動織機
Toyota Industries Corporation

豊田通商

豊田通商株式会社
Toyota Tsusho Corporation

TOYOTA
FINANCIAL SERVICES

トヨタファイナンシャル
サービス株式会社
TOYOTA FINANCIAL SERVICES
CORPORATION

トヨタ紡織

トヨタ紡織株式会社
TOYOTA BOSHOKU
CORPORATION

NIFCO

株式会社ニフコ
Nifco Inc.

Amway

日本アムウェイ合同会社
Amway Japan

NYK LINE
NIPPON YUSEN KAISHA

日本郵船株式会社
NIPPON YUSEN KABUSHIKI
KAISHA (NYK LINE)

HINO

日野自動車株式会社
Hino Motors, Ltd.

FKD | FUKADA DENKI

地球と手をつなぐ、電材カンパニー。
深田電機株式会社
FUKADA DENKI

FUJITSU

富士通株式会社
Fujitsu Limited

brother

ブラザー工業株式会社
BROTHER INDUSTRIES, LTD.

MS&AD 三井住友海上

三井住友海上火災保険株式会社
Mitsui Sumitomo Insurance
Company, Limited

SMBC 三井住友銀行

株式会社三井住友銀行
Sumitomo Mitsui Banking
Corporation

三菱商事

三菱商事株式会社
Mitsubishi Corporation

三菱食品

三菱食品株式会社
Mitsubishi Shokuhin Co., Ltd.

明治安田生命

明治安田生命保険相互会社
Meiji Yasuda Life Insurance Co.

森村豊明会

公益財団法人森村豊明会
MORIMURA HOUMEIKAI
FOUNDATION

アサヒグループホールディングス株式会社 / 東京海上日動火災保険株式会社 / パナソニック株式会社 / 矢崎総業株式会社

Asahi Group Holdings, Ltd. / Tokio Marine & Nichido Fire Insurance Co., Ltd. / Panasonic Corporation / Yazaki Corporation

法人賛助会員一覧 (五十音順) Corporate members

明治安田生命保険相互会社 / 渡辺商事有限会社

Meiji Yasuda Life Insurance Co. / Watanabe Trading Co., Ltd.



公益財団法人ジョン万次郎ホイットフィールド記念

国際草の根交流センター

John Manjiro Whitfield Commemorative

Center for International Exchange

〒102-0083 東京都千代田区麹町 2-12-18 グランアックス麹町 602
TEL : 03-3511-7171 FAX : 03-3511-7175

GRAND AXE 602 2-12-18 Koujimach, Chiyoda-ku, Tokyo 102-0083, Japan
TEL : +81-03-3511-7171 FAX : +81-03-3511-7175

Email : manjiro@manjiro.or.jp URL : http://www.manjiro.or.jp